

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科造園学専攻				
科目名称	近代庭園学特論Ⅱ					授業形態	講義・演習		
科目コード	642528	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岡島 直方							ICT活 用	
授業概要	近代において、時代の変化とともに風景や緑地に対する見方、考え方が転換する出来事が何回か起こった。特論の前半ではそれ以前と以降に何が変わったのか、変わり方に影響を与えたものについて考える。後半では造園デザインプロセスに関わる変化を学ぶ。								
関連する科目	「東洋庭園学特論Ⅰ」、「西洋庭園学特論Ⅰ」								
授業の進め方 と方法	テキストや配布するプリント、関連書籍などを読みながら進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題とは限らないであろうから、本人の興味などを考慮にいれ、柔軟に対応する。								
授業計画	<p>第1回：はじめに (日程・概要の説明)</p> <p>第2回：地図の作成と空間把握 (言葉から概念的な地図をつくる)</p> <p>第3回：批評空間とアート1 (アートとは何か)</p> <p>第4回：批評空間とアート1 (アートとは何か)</p> <p>第5回：批評空間とアート2 (アートとは何か)</p> <p>第6回：大地や緑地との接点を持つアート (アースアートやオブジェ)</p> <p>第7回：評論から学ぶ空間論1 (造園家や建築家)</p> <p>第8回：評論から学ぶ空間論2 (造園家や建築家)</p> <p>第9回：対談から学ぶ空間論1 (造園家や建築家)</p> <p>第10回：対談から学ぶ空間論2 (造園家や建築家)</p> <p>第11回：文学の中の自然描写の研究1 (戦争と平和)</p> <p>第12回：文学の中の自然描写の研究2 (樹木と人間)</p> <p>第13回：文学の中の自然描写の研究3 (樹木と人間)</p> <p>第14回：自由研究 (森の絵本)</p> <p>第15回：まとめ (内容は大学院生の興味に応じて変化する。)</p>								
授業の到達目標	異文化のバックグラウンドを持つ人から見た、新鮮な空間の捉え方を知る。自分の専門分野の殻に閉じこもらず、むしろ開いていくことを目指す。緑地や空間一般を見る目を養う。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(2)未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。/2. 人間力・社会性・国際性-(1)豊かな個性を発揮して課題を発見し、探求することができる。/2. 人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。								
授業時間外学習【予習】	各々予習を30分～1時間程度必要とする。								
授業時間外学習【復習】	各々復習を30分～1時間程度必要とする。								
課題に対する フィードバック	大学院生が選んだテーマについてを主体として、内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題を通じて、フィードバックを行う。								
評価方法・基準	レポート(100点)								
テキスト									
参考書	1. 『雪の研究』, 中谷宇吉郎 2. 『表徴の帝国』, ロラン・バルト, その他のものはプリント配布の予定								
備考									